



手動身長計
BH-100
【シリアル出力説明書】

Version 1.0
2019/04/22

株式会社タニタ

1. 目次

1.	目次.....	2
2.	概要.....	3
3.	通信仕様.....	3
4.	接続方法.....	3
5.	出力データフォーマット.....	4
6.	出力データ例.....	4
7.	改訂履歴.....	4

2. 概要

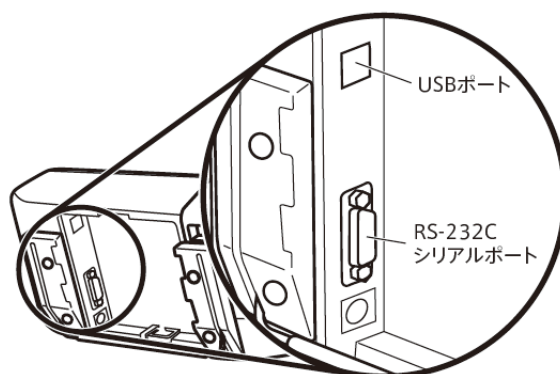
この説明書は、手動身長計「BH-100」の測定結果を、パーソナルコンピューター（以下：PC）等の外部機器に出力する信号に関して説明するものです。コントローラー、またはカーソルの SET ボタンを押すことで、コントローラーのシリアル通信ポートから、測定結果が出力されます。

3. 通信仕様

通信規格	: EIA RS-232C準拠
通信方式	: 調歩同期式
信号速度	: 9600ボー
データビット長	: 8ビット
パリティ	: なし (NONE)
ストップビット	: 1ビット
フロー制御	: なし
ターミネータ	: CR+LF

4. 接続方法

コントローラー背面のUSB端子、RS-232C端子を各ケーブルでPCと接続します。
※RS-232C 端子を接続する場合、RS-232C 出力の設定が必要です。（取扱説明書 P11）



【USB の場合】

コントローラー背面に USB コネクタ（タイプ B）が付いています。USB ケーブルで接続してください。

ケーブル種類： タイプ A 4 ピン（オス） — タイプ B 4 ピン（オス）
（USB2.0 規格に対応）

※BH-100 は USB シリアル変換のために、FTDI 社の IC チップ FT232RL を使用してします。FTDI 社または当社のホームページからドライバをダウンロードし、PC ヘインストールする必要があります。

【RS-232C (D-sub9 ピン) の場合】

ケーブルの種類： ストレート D-sub9 ピン（オス） — D-sub9 ピン（メス）（延長用）

5. 出力データフォーマット

送信データは、受信側（PC など）の状態にかかわらず測定直後に出力されます。このため、測定以前に受信側が、常に受信可能な状態になっている必要があります。

電源 ON や OFF 時に、出力端子の電圧が変動する可能性があります。信号として認識した場合は、アプリケーション側で無視するようにしてください。

※各データは、カンマ ‘,’ で区切られています。

※ターミネータ（データの最後）は、’ CR ‘（ASCII コード 0DH）、’ LF ‘（ASCII コード 0AH）です。

項目	ヘッダ	フォーマット	内容
制御データ	{0	16に固定	2バイト固定長
制御データ	~1	1に固定	1バイト固定長
型番	MO	"XXXXXX"	8バイト固定長（"BH-100"）
日付	DT	"yyyy/mm/dd"	12バイト固定長（yyyy:年 mm:月 dd:日）
時間	TI	"hh:mm"	7バイト固定長（hh:時 mm:分）
身長	Hm	XXX.X	4~5バイト可変長、小数点以下1桁まで（単位cm）
チェックサム	CS	XX	2バイト固定長

6. 出力データ例

ターミネータ（CR+LF）のついたデータが1電文として出力されます。

出力例：{0, 16, ~1, 1, MO, "BH-100", DT, "2019/04/06", TI, "13:06", Hm, 158.9, CS, 99

※制御データは拡張用。現在は未使用のため、受け取り側は無視できる。

※チェックサムは先頭の ‘{’ からチェックサムのヘッダ ‘CS’ の手前のカンマ ‘,’ までの文字コードを合計したもの。

7. 改訂履歴

Version 1.0 2019/04/22 初版